

事務事業名		キャリア教育推進のためのカタリバ体験事業		所属部	教育委員会	所属課	学校教育課	
総合計画 画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<教育・文化>		所属G	義務教育G	課長名	山崎 修	
	施策名	(27)学校教育の充実		担当者名	福島勇樹	電話番号	40-1072 (内線) 3652	
	目的 対 象	小学校の児童・中学校の生徒	意 図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。				
	基本事業名	(081)すべての子どもにわかりやすい授業づくりの推進		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 5 0 0 2	中学校教育振興事業		
目的 対 象	児童・生徒	意 図	ユニバーサルデザイン授業を推進する。				中事業 1 5 1 0 2 1	キャリア教育推進のためのカタリバ体験事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (26年度~)
	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (26年度~ 29年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述)
<p>市内中学生に全国的に注目されている、NPOカタリバによるカタリバ授業を実施し、生徒のキャリアアップのための自己肯定感の上昇を斜めの関係である、大学生を中心として実施する。</p> <p>(目的) 『夢』発見プログラムに基づく、キャリア教育の推進(自己肯定感の上昇)</p>	

(2) 事務事業の手段・指標

① 主な活動						
26年度実績(26年度に行った主な活動)		27年度計画(27年度に計画する主な活動)				
手段	①カタリバ授業の実施 平成26年3月実施/中学校2年生対象	左記同様				
	②自分をつくる楽校 東京研修 平成27年3月/幸雲南塾・自分をつくる楽校 すべてに参加した中3・高校生の希望者					
	③教育フェスタ					
② 活動指標		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)
ア	カタリバ授業の実施校	校			7	7
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)
	生徒	ア	生徒数(中学2年生)	人		344	403
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)	
自分の将来に目標を見つける。	ア	カタリバ授業の満足度	%			95.2	95.2
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)		② コストの推移		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
●報償費 1,837千円 ●旅費 128千円 ●委託料 1,900千円 ●使用料 1,248千円	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円				300	
		一般財源	千円			5,113	1,500	
		事業費計(A)	千円			5,113	1,800	
		人件費	正規職員従事人数	人			8	
	延べ業務時間	時間			416			
	人件費計(B)	千円			1,617			
	トータルコスト(A)+(B)	千円			6,730			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
『夢』発見プログラムを中心とした、キャリア教育の推進を図ってきたところであるが、さらなる充実が求められている。	教育委員会と継続的に取り組んできた、キャリア教育プログラム(事業)の体系的な見直し及び目標にむかっの各取り組みの整理統合を図っている。	カタリバ授業については、当初否定的な意見が学校からもあがっていたが、現在は肯定的な意見が増えている。また、東京研修の実施では、参加者からも高い評価がうかがえた。

事務事業名	キャリア教育推進のためのカタリバ体験事業	所属部	教育委員会	所属課	学校教育課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 現状値が非常に高い数値であり、これ以上の向上余地は難しいと考えるが、この数値を維持するとともに、本事業の対象者である中2の生徒が、キャリア教育の他の取り組みにも積極的に参加するような成果に繋げる必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 本市の教育はキャリア教育を柱としており、その根幹を担う事業が中止になることは、生徒の自己肯定感の上昇、学力等に影響を及ぼす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 本事業の受託者による専門性の高い授業の提供であり、同様の成果等を期待できる他の手段は現時点では考えられない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 生徒の輸送費をはじめ、必要最小限の経費により実施しており、同様の成果等を維持しつつ事業費を削減することは、現時点では考えられない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 平成27年度から、キャリア教育全般をNPO法人との連携・協働により実施することとなり、適切な役割分担により、削減余地は考えられる。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 市内のすべての中2の生徒が参加できる取り組みであり、公平・公正である。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	即効性のある事業ではないが、将来の雲南市を担うリーダー育成など目的と合致していることや、学校教育を中心としながら、学校・家庭・地域・行政が連携して、実施する事業として必要不可欠である。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	●		×																				
	低下		×	×																				
<p>学校教育課職員が平成27年度減員になるなか、現行のまま実施していくには、難しい状況にあるが、NPO法人との適切な役割分担や組織内はもとより、組織外の機関との的確な連携を模索する必要がある。</p>																								